

報道関係各位
プレスリリース

株式会社 SkyDrive

**バンコク・エアウェイズ、サハグループ、サハ東急と SkyDrive が、
タイにおける空飛ぶクルマの事業化に向け、業務提携（MOU）に合意
～シラチャ・バンコク・サムイ島での航路検証や販売・整備拠点等の設置を含めた
包括的なビジネスロードマップを策定～**

コンパクトな「空飛ぶクルマ」（※1）の開発・製造・販売を行う株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）は、Bangkok Airways Public Company Limited（本社：タイ バンコク、社長兼 CEO Puttipong Prasarttong-Osoth、以下「バンコク・エアウェイズ」）、Saha Pathana Inter-Holding Public Company Limited（本社：タイ バンコク、最高経営責任者兼取締役会長 Vichai Kulsomphob、以下「サハ・パタナ・インター・ホールディング」）、およびサハ東急コーポレーション（本社：タイ チョンブリ、取締役社長 西本 雅彦、以下「サハ東急」）と、タイ国内における空飛ぶクルマの社会実装および事業化に向けた包括的な業務提携（MOU）を締結しました。

これにより、シラチャ・バンコク・サムイ島での航路検証や販売・整備拠点等の設置を含めた包括的なビジネスロードマップを策定しました。今後、4 社で協力しながら実現に向けて具体的な検討を推進します。



■ 背景

SkyDrive とサハ・パタナ・インター・ホールディング、サハ東急の 3 社は、2024 年に事業検討に関する覚書を締結し、タイにおける空飛ぶクルマのユースケースや事業展開の可能性について検討を重ねてまいりました。（※2）このたび、タイの主要航空会社であるバンコク・エアウェイズが新たに本提携に加わることで、商用化に向けたより具体的かつ実効性の高い検証へとフェーズを進める運びとなりました。

バンコク・エアウェイズは、タイ国内および近隣諸国を結ぶリージョナルエアラインとして「アジアのブティックエアライン」をスローガンに高品質なサービスを提供するだけでなく、次世代モビリティの導入にも積極的に取り組んでいます。同社はプーケット島やサムイ島をはじめとする主要観光地への広範な路線ネットワークを展開しているほか、サ

ムイ島においては自社で空港やホテルを保有・運営するなど、観光開発においても独自の知見と豊富な実績を有しています。同社が持つ航空運航のノウハウと観光開発の経験が融合することで、タイにおける空飛ぶクルマの商用化が大きく前進することが期待されます。

さらに、サハグループと東急グループの連携のもとで推進する、次世代の「まちづくり×空飛ぶクルマ」の社会実装モデルは、タイでの成功を皮切りに、日本国内をはじめ、オーストラリアやベトナムといった他国・他地域へのグローバル事業展開も視野に入れています。まずはタイにおいて都市開発と次世代モビリティをシームレスに融合させ、国際都市づくりの最先端エコシステムを構築し、それをグローバルへと横展開していくことを目指してまいります。

■ タイ市場における事業化支援体制の検討

タイ国内での商用化や機体販売を見据え、既存インフラや現地パートナーと連携した事業化支援体制を今後4社で段階的に検討してまいります。

まずは購入検討者向けの機体展示や体験機会の提供等から着手を検討し、機体数や運航頻度の増加に応じて、販売・保管・整備・訓練などの最適なサポート体制も検討します。

将来的には市場の成熟度や需要動向を踏まえ、より広範な事業機能の現地化も視野に入れて取り組んでまいります。

■ 航路

本提携において、4社はタイ国内における具体的な航路の検証・選定に着手し、移動の利便性向上と都市渋滞の回避、および遊覧飛行をはじめとする観光需要の開拓を目指します。

- シラチャエリア：サハ東急が快適な住環境創造を進める、日本人駐在員ファミリー向けの居住・生活エリア「J-Park/HarmoniQ」を起点とし、シーチャン島（Koh Sichang）やラン島（Goh Lan）、パタヤ（Pattaya）といった周辺離島や主要観光地を結ぶルートを検証します。
- バンコクエリア：中長期的なステップとして、バンコク市街地の中心部や「Kings Square Residence」などの主要都市拠点、およびスワンナプーム国際空港を結ぶエアタクシーの導入を視野に入れます。慢性的な交通渋滞を回避する迅速かつ快適な日常インフラとして、エリアの価値最大化を目指します。
- サムイ島エリア：世界中から観光客が訪れるサムイ島において、その豊かな自然と美しい海の景観を活かした「遊覧飛行」の事業化を検討します。また、空港や各リゾートエリア間の快適かつ迅速な移動インフラとしての検証も進め、渋滞や船の移動時間に縛られない、次世代のリゾート・モビリティ体験を提供します。



シラチャエリアの航路イメージ



サムイ島エリアを飛行する空飛ぶクルマ「SKYDRIVE (SkyDrive 式 SD-05 型)」のイメージ

■ コメント

バンコク・エアウェイズ プティポン プラサトーン オーソット 社長兼 CEO 氏

本提携は、タイの航空業界にとって重要な節目となるものです。空飛ぶクルマの導入は、タイの航空における新たなイノベーションであり、都市、空港、そして主要な観光目的地

を、より効率的かつ環境に優しい方法で結ぶ再考の機会をもたらします。航空会社として、空飛ぶクルマ「SKYDRIVE（SkyDrive 式 SD-05 型）」がバンコク・エアウェイズの既存の路線網や空港インフラ（特にサムイ、スコータイ、トラートなど）をどのように補完できるかを検討するのに最適な立場にあります。本取り組みはまだ検討段階ではありますが、タイにおける将来の空飛ぶクルマのサービス実現に向け、運航、規制、商用の枠組みをさらに精査する準備は整っています。この提携は、当社の革新へのコミットメントと、国内における持続可能なエアモビリティの次章を築く責任を反映したものであると信じています。

サハ・パタナ・インター・ホールディング 最高経営責任者兼取締役会長 Vichai Kulsomphob 氏

SkyDrive、バンコク・エアウェイズ、サハ東急との戦略的提携を支援できることを光栄に思います。これはタイにおける持続可能なエアモビリティの推進に向けた大きな一歩です。この提携は、環境負荷を低減し、かつ交通に変革をもたらす、革新的なソリューションである空飛ぶクルマ事業の展開において、重要な進展を意味します。当社は、商用化に向けた強固な基盤を築くため、緊密に連携しながらサポートしてまいります。この提携を通じてイノベーションを促進し、タイの長期的な経済・社会発展に寄与することで、よりスマートで持続可能な国の未来を築き上げることを目指します。

サハ東急 取締役社長 西本 雅彦 氏

一昨年、創立 10 周年を迎えた当社は、これまでサハグループと東急グループそれぞれの知見とノウハウを結集し、製造業を中心に日系企業の進出が進むタイ・シラチャにおける住環境の創造を目指して事業を行ってきました。この度、世界が注目する新しいモビリティである空飛ぶクルマを開発する日本のトップ企業 SkyDrive とサハグループと共に、新たにバンコク・エアウェイズとの、タイにおける事業検討に向けた協議を始められることを大変光栄に思います。タイを中心に、地域の航空サービスを提供するバンコク・エアウェイズとの連携により、空飛ぶクルマの活用の検討や、SkyDrive のような先端企業のタイへの進出を支援し、新たな産業により集う人々への、住宅や働く場といった不動産サービスの提供を含め、地域を一層活性化させることに尽力し、タイの地域社会、経済に貢献していけると信じています。

SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤 知浩

このたび、タイを代表する企業であるバンコク・エアウェイズ、サハ・パタナ・インター・ホールディング、サハ東急と業務提携を結ぶことができ、大変光栄に感じております。急速な経済成長を遂げているタイでは、慢性的な交通渋滞や排気ガスによる環境汚染といった深刻な社会課題が顕在化しています。こうした状況を受け、2024 年より、サハ・パタナ・インター・ホールディングおよびサハ東急とともに、コンパクトかつ CO2 を排出しない弊社の空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」を活用した社会課題の解決に向けた事業検討を進めてまいりました。そして今回、運航や観光開発に関する豊富な知識と経験を有するバンコ

ク・エアウェイズが加わったことで、タイにおける具体的なユースケースの検討をさらに加速させることができると確信しております。今後 4 社でより緊密に連携し、タイでの空飛ぶクルマの商用運航実現に向けた取り組みを一層推進してまいります。

■ 各社について

バンコク・エアウェイズ (Bangkok Airways Public Company Limited)

バンコク・エアウェイズは、航空運送事業および空港関連サービスを提供する航空会社です。高品質なフルサービスを提供する「アジアのブティックエアライン」として、タイ国内およびアジア圏の主要都市を結ぶ重要な役割を担っています。サムイ、スコータイ、トラートの 3 カ所に自社空港を保有・運営しており、プーケット、チェンマイ、シェムリアップなど、観光・経済の拠点へのスムーズなアクセスを提供しています。また、機内食などのケータリング事業や、国際基準に基づいた地上支援業務、貨物ターミナル運営などの関連事業も幅広く展開しています。

URL: <https://www.bangkokair.com/>

サハ・パタナ・インター・ホールディング (Saha Pathana Inter-Holding Public Company Limited)

1972 年に設立されたサハ・パタナ・インター・ホールディング (SPI) は、タイ最大手の消費財コンポーネントであるサハグループの中核を担う持株会社です。同グループは、「MAMA (即席麺)」「Wacoal (衣料品)」「Pao」「Essence (洗剤)」「Mistine (化粧品)」など、多岐にわたる市場でトップシェアを誇るブランドを製造・販売しています。原材料の調達から製造、配送までを一貫して行う強固なサプライチェーンを構築しているほか、グループ内の工業団地運営を通じて、入居企業へのインフラや付帯サービスの提供も行っています。

URL: <https://www.spi.co.th/en/home>

サハ東急 (Saha Tokyu Corporation Company Limited)

サハ東急は、日本の東急グループとタイのサハグループによる合併会社として、2014 年 10 月に設立されました。タイの製造業の拠点であり、多くの日本企業が進出するチョンブリ県シラチャを拠点に活動しています。同社は、日本人駐在員やその家族向けに、日本のクオリティを追求した住宅開発やサービスアパートメントの運営を行っており、快適な住環境と高品質なサービスの提供を通じて地域の発展に貢献しています。

URL: <https://sahatokyu.com/?lang=en>

※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility（AAM）や Urban Air Mobility（UAM）と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和 8 年 3 月付）<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001994084.pdf>

※2 関連プレスリリース：

<https://skydrive2020.com/archives/44836>

<https://skydrive.co.jp/archives/66453>

《株式会社 SkyDrive 概要》

設立	2018 年 7 月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	https://skydrive.co.jp/
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1 豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 名古屋空港オフィス：愛知県西春日井郡豊山町大字豊場 県営名古屋空港 2F 東京オフィス：東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 3F 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F 山口テストフィールド：山口県山口市阿知須
子会社	株式会社 Sky Works：静岡県磐田市 SkyDrive America, Inc.：Beaufort, South Carolina 29902, U.S.A. 株式会社 AlterSky：愛知県豊田市
事業内容	「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018 年 7 月に設立、愛知県豊田市を主拠点にコンパクトな「空飛ぶクルマ」を開発し、静岡県磐田市のスズキグループの工場で製造を開始しています。官民協議会の構成員として制度設計にも関与、2020 年に日本で初めて公開有人飛行試験に成功、2025 年には大阪・関西万博にてデモフライトを実施しました。2028 年のサービス開始を目指し、引き続き機体開発に努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ

《株式会社 SkyDrive》

広報 石井

電話：090-6389-3584

Email: info@skydrive.co.jp

<https://skydrive.co.jp/contact>